



# 学校だより ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyaminami/>  
代表メールアドレス [ky-e-kamariyaminami@city.yokohama.jp](mailto:ky-e-kamariyaminami@city.yokohama.jp)



令和 4年 5月 31日  
横浜市立釜利谷南小学校

6月号

校長 田中 さくら

## 学校・家庭・地域に支えられて成長する釜南の子どもたち

副校長 海邊 浩明

5月は梅雨入りしたかと思うほど、雨模様の日が多くありましたが、釜南の子どもたちは、数少ない晴れの日には、みんなめいっぱい外遊びを楽しみ、明るくはしゃぐ声が、校庭中に響き渡っています。

昨年の今頃を思い返すと、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのまん延防止措置が継続されており、校外学習や宿泊体験など、様々な活動が中止や延期を余儀なくされていました。今年度は、感染状況も少しずつ改善の兆しが見られ、4月の授業参観・懇談会、6年東京見学、5月の3年遠足(海の公園)、2年遠足(ブーラシア)、6年日光修学旅行も実施することができ、6月からは、ようやく水泳学習を計画する運びとなりました。

そんな中、5月20日(金)に「**第1回 釜南学校運営協議会**」を実施することができました。年4回で計画されていますが、昨年度は、第1回、第4回が感染症拡大防止のため中止となってしまいました。

学校運営協議会とは、学校・家庭・地域が連携を強化し、学校運営をサポートするために組織されており、本校の学校運営協議会は、自治会・町内会長、民生委員・児童委員、放課後キッズクラブチーフ、学校・地域コーディネーター、学識経験者、PTA会長、本校校長の13名で構成され、平成22年発足と長い歴史があります。「**学校・家庭・地域で育てようウルムスの若葉**」をモットーに、釜南の子どもたちのための活動を展開しています。

今回は、委員委嘱、授業見学、そして、今年度の学校経営方針説明会を行いました。教職員一同が参加して行われた学校経営方針説明会では、各学年目標も各担任から楽しく発表する等、教職員のチームワークのよさも披露することができました。

委員の皆さんからは、「体育健康プランのおかげで、釜南の児童はコロナ禍でも体力が向上しているのが素晴らしい」「道で会ったときに大きな声で挨拶をしてくれる子が多くて嬉しい」「発言する姿などいきいきと授業に取り組めている」「教職員の仲のよさが子どもたちの成長につながっている」等、ありがたいご意見を多数いただきました。

釜南の子どもたちは、我々教職員だけでなく、温かく見守ってくださる家庭や地域の皆様のおかげで成長することができていることを改めて確認することができ、心から嬉しく思いました。頂いた貴重なご意見は、今後の学校運営に活かしていきたいと思えます。ご出席ありがとうございました。

学校運営協議会でもご紹介しましたが、今年度から本校に「**太陽光発電・蓄電池システム**」が設置され、運用されています。

横浜市では、「2050年までに温室効果ガス実質排出ゼロの実現」を目指しており、「Zero Carbon Yokohama」を掲げ、実現に向けて再生可能エネルギーの積極的な活用を進めています。その一環として、学校に「太陽光発電設備及び蓄電池設備」が設置され、再生可能エネルギーを供給することで、温室効果ガス排出を抑制すると同時に、停電等非常時の防災用電源としての活用を目的とした事業を実施しており、本校も昨年度末に設備工事が完了し、今年度の4月から運用されることになりました。

5月17日(火)に臨時朝会を開き、「太陽光発電・蓄電池システムのおはなし」として、お手製のプレゼンテーション資料を披露しながら、児童に説明しました。「太陽光発電は、二酸化炭素排出量を削減でき、地球にやさしいこと」や、「発電した電気は、蓄電することで停電時に役立つこと」等、低学年には少し難しい内容でしたが、真剣な眼差しで聞いてくれました。技術員室前のサイネージ(毎日の発電量等をグラフ化して表示するモニター)を日々見守り、再生可能エネルギーを身近に感じてくれるといいなと願っています。

